

## 第5節 地域別の振興方向

農業振興地域を有する11地域について、地域主体で進められている取組みを考慮しながら、地域特性に応じた施策を次のとおり進めます。

### (1) 現状及び施策の方向性

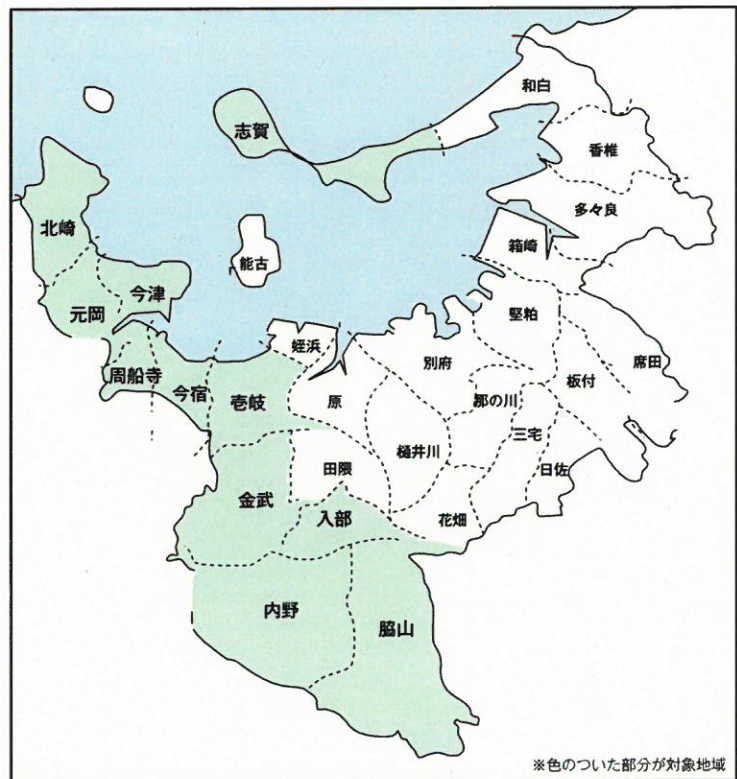
各地域の農業生産の特徴や課題及び今後の施策の方向性をまとめています。

### (2) 特色ある取組み

各地域の主体的な活動を紹介しています。

### (3) 基礎データ

- 販売農家戸数（平成22年2月1日及び平成27年2月1日現在）  
経営耕地面積が30a以上又は1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家数  
（2010及び2015農林業センサスによる数値）
- 農業従事者数（平成22年2月1日及び平成27年2月1日現在）  
1年間に自営農業に従事した販売農家の世帯員数  
（2010及び2015農林業センサスによる数値）
- 農地面積（平成22年1月1日及び平成26年1月1日現在）
- 認定農業者数（平成23年3月31日及び平成28年4月1日現在）
- 主な直売所（JA及び福岡市が関係する直売所）



## 1 志賀

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の北東部に位置し、いちごを中心とした農業が営まれているほか、地域の北部では水田、傾斜地ではかんきつ類やびわ等の果樹の生産も盛んです。



果樹やいちごの生産

農業従事者の高齢化や後継者不足、地域外への人口流出などにより農業従事者は減少しています。また、傾斜地など条件の悪い農地や、イノシシ等による鳥獣被害の発生により耕作放棄地が増加傾向にあります。

農地情報の提供や農家による技術の継承など、新規就農者の受入れ体制を整えるとともに、いちご等の特産物を活かした加工品開発など、販路拡大の取組みを推進します。

また、観光農園や体験型農園の開設、果樹の一本園主や収穫体験、季節ごとの特産物の宅配など、地域活性化への取組みを支援するとともに農地の有効活用を進めます。

### (2) 特色ある取組み

- ・あまおう祭り（4月）
- ・甘夏やニューサマーオレンジなどの一本園主  
（甘夏やニューサマーオレンジの立ち木一本のオーナーになり約1カ月間収穫ができる。）
- ・志賀の島からの宅配便  
（志賀島の特産品を季節毎に会員へ宅配している。）

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	30 (10)	23 (10)	76.7 % (100.0 %)
農業従事者数（人）	95	58	61.1 %
農地面積（ha）	178	153	86.0 %

	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	6	5	83.3%

主要生産物	いちご、びわ、甘夏柑、ニューサマーオレンジ、米
-------	-------------------------

## 2 入部

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の中南部に位置し、室見川右岸の平坦部に広がる農地において、水稲・キャベツ・軟弱野菜の生産が活発に行われています。中でも、キャベツは国の「指定産地」に指定されています。

地域内の中核農家の後継者は増加傾向にある中、農家の高齢化により直売所出荷者は減少しています。



キャベツ畑

直売所やJA女性部等による地域活性化への取組みが進められているため、その活動を支援します。

また、小規模農家や兼業農家の後継者が育っていないことから、地域共働の営農を進めるため、手持ちの農機具を活用した近隣農家間での共同利用や、機械利用組合の活用を推進します。

### (2) 特色ある取組み

- ・ 早良特産キャベツを使った商品開発  
（早良商工会や地元農家を中心に、出荷できないキャベツを使用した商品の開発に取り組んでいる。取組み期間：平成27年度から3年間）
- ・ 地域清掃活動の継続  
（JA組合員や地域住民が参加して、田んぼ周辺や室見川沿いの清掃活動を毎年継続して4月頃に実施している。）

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	113 (34)	94 (43)	83.2 % (126.5 %)
農業従事者数（人）	331	242	73.1 %
農地面積（ha）	156	153	98.1 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	20	23	115 %
主要生産物	米、キャベツ、しゅんぎく、ブロッコリー、えだまめ		
主な直売所	博多じょうもんさん入部市場		

### 3 脇山

#### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の南部に位置し、山村振興法により指定を受けている中山間地域で、主に米の生産が行われているほか、かつお菜等の野菜が生産されています。

サルやイノシシによる鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置による対策が進められています。

農作業の委託を希望する農家の増加に対し、作業受託農家は高齢化が進み受託が出来なくなっているため、地域担い手による高齢者所有農地等の作業受託体制の構築を推進するとともに、地域共働の営農を進めるため、手持ちの農機具を活用した近隣農家間での共同利用を推進します。



脇山の棚田風景

#### (2) 特色ある取組み

- ・オイスカ・脇山ふるさと広場  
(作物の栽培から収穫までを、専門家の栽培指導を受けながら体験出来る農園。)
- ・グリーンツーリズム in わきやま  
(市内の子ども達とその保護者を対象にして、稲作などの農業体験等を行っている。)

#### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数 (戸) (うち専業農家)	102 (24)	71 (17)	69.6 % (70.8 %)
農業従事者数 (人)	288	201	69.8 %
農地面積 (ha)	191	189	99.0 %

	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数 (経営体)	5	4	80.0 %

主要生産物	米, キャベツ, ほうれんそう, かつお菜
主な直売所	ワッキー主基の里

## 4 内野

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の南部に位置し、中山間部に広がる農地で、主に米の生産が行われているほか、たけのこやかつお菜等の野菜が生産されています。

サルやイノシシによる鳥獣被害が発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置による対策が進められています。

農家の高齢化が進み、農業従事者が減少する中、人・農地プランにより地区外からの新規就農者も出てきていることから、地域において農地集積に向けた情報収集・発信体制を構築するとともに、人・農地プランと連携した多様な新規就農者の受け入れを推進します。

また、不耕作地が増加しており、農地の有効利用等の一つとして市民農園開設に向けた取組みを支援します。



中山間部に広がる農地

### (2) 特色ある取組み

- ・老人クラブを中心にチューリップを植栽し、チューリップ祭りを開催している。（4月）

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	116 (27)	101 (30)	87.1 % (111.1 %)
農業従事者数（人）	316	251	79.4 %
農地面積（ha）	185	180	97.3 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	3	3	100.0 %
主要生産物	米、たけのこ、かつお菜		
主な直売所	水源の里		

## 5 金武

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の南西部に位置し、地域の中央部から南部の農地では、主に米の生産が行われているほか、大根・かぶ・ぶどう等の生産が活発に行われています。地域の北部には、ほ場整備された農地が多くあります。

イノシシや小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罫設置による対策が進められています。

農家の高齢化が進む中、担い手組織や後継者が育っていないことから、地域担い手による高齢者所有農地等の作業受託体制の構築を推進するとともに、人・農地プランの作成による新規就農者や担い手農家への支援体制の整備を推進します。

地域内にある「かなたけの里公園」と連携した、青空市の開催や地元食材を使用した交流会の開催など、地域活性化への取組みを支援します。

### (2) 特色ある取組み

- ・ぶどう観光農園（9月頃）

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	145 (46)	129 (47)	89.0 % (102.2 %)
農業従事者数（人）	390	328	84.1 %
農地面積（ha）	260	240	92.3 %

	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	6	5	83.3 %

主要生産物	米、ぶどう、いちご、だいこん、かぶ、ブロッコリー、かつお菜、枝豆、いちじく
-------	---------------------------------------

## 6 壱岐

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の西部に位置し、水稻・軟弱野菜の生産が活発に行われています。

地域内の大部分は市街化区域であり、高齢化の進行と市街化区域の開発により農地が減少しているため、担い手を中心に農地の利用集積の取組みが進められています。

市街地に近いという立地を活かし、市民との交流促進や観光農園・体験農園などの取組みを支援します。

### (2) 特色ある取組み

・小学校でのみそづくり教室

(女性ボランティアグループの指導により、小学校の授業でみそ作りを体験する。)

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	110 (42)	93 (40)	84.5 % (95.2 %)
農業従事者数（人）	304	240	78.9 %
農地面積（ha）	85	77	90.6 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	11	11	100.0 %
主要生産物	米、青ねぎ、ブロッコリー、かつお菜		
主な直売所	博多じょうもんさん福重市場		

## 7 今宿

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の西部に位置し、地域の南部ではほ場整備が行われた農地が広がり、水稻・軟弱野菜・ぶどうの生産が活発に行われています。また、地域の北部は区画整理により農地の宅地化が進んでおり農地が減少しています。

イノシシ・サル・小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罾設置や駆除活動による対策が進められています。

農家の高齢化が進む中、担い手組織や後継者が育っておらず、また地域内の遊休農地が増加傾向にあることから、地域共働の営農を進めるため、手持ちの農機具を活用した近隣農家間での共同利用を推進するとともに、受託組合等による遊休農地の管理や活用などの取組みを支援します。

### (2) 特色ある取組み

#### ・ 田んぼアート

(地元農家・商工会等で構成する実行委員会を中心に、アートを描いた田植えを行い、見頃となる9月に「田んぼアートフェスタ」を開催している。)

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数 (戸) (うち専業農家)	47 (11)	36 (9)	76.6 % (81.8 %)
農業従事者数 (人)	160	90	56.3 %
農地面積 (ha)	102	83	81.4 %

	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数 (経営体)	7	9	128.6 %

主要生産物	米, ぶどう, ほうれんそう, 水菜
-------	--------------------



## 8 今津

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の北西部に位置し、水稻・いちご・軟弱野菜の生産が行われています。

イノシシ・小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罾設置や駆除活動による対策が進められています。

農業塾修了生などの新規就農者の耕作地が増加傾向にありますが、兼業・小規模農家では高齢化の進行や後継者不足により、離農者も増加しています。また、地域内の専業農家は園芸作物が中心であり、稲作の担い手が減少しています。

このため、不耕作地対策として、農業委員や農事組合等と遊休農地情報の共有や活用協議による担い手への農地利用集積の取組みを支援します。

### (2) 特色ある取組み

- ・障がい者支援施設の利用者による焼酎づくり  
(施設利用者が栽培・収穫したさつまいもで焼酎を造り販売している。)

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	43 (25)	42 (20)	97.7 % (80.0 %)
農業従事者数（人）	129	130	100.8 %
農地面積（ha）	142	137	96.5 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	16	17	106.3 %
主要生産物	米、いちご、青ねぎ、小松菜、ブロッコリー		

## 9 周船寺

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の西部に位置し、伊都区画整理事業により都市化が進み、集落と農地が混在する中、水稲・麦・いちご・軟弱野菜の生産が活発に行われています。

イノシシ・小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罾設置や駆除活動による対策が進められています。

農家の高齢化は進行していますが、後継者により生産は維持されています。

中核農家による受託組織が設立されているため、地域における作業受委託体制づくりを推進するとともに、手持ち農機具を活用した近隣農家での共同利用を推進します。

### (2) 特色ある取組み

- ・コスモス祭り

(飯氏田園スポーツ広場においてコスモス祭りを開催し、地元農産物や加工品等の販売を行っている。10月開催)

- ・宮崎安貞翁顕彰会

(西区女原地区において、日本農学の始祖と仰がれる江戸時代の農学者、宮崎安貞翁の遺業をたたえるため、地元農家を中心に顕彰祭が行われている。)

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数(戸) (うち専業農家)	73 (18)	66 (16)	90.4 % (88.9 %)
農業従事者数(人)	241	198	81.2 %
農地面積(ha)	133	118	88.7 %

	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数(経営体)	14	15	107.1 %

主要生産物	米、麦、青ねぎ、いちご、キャベツ、ブロッコリー、えのき茸、いちじく
主な直売所	博多じょうもんさん周船寺市場

## 10 元岡

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の西部に位置し、施設園芸や酪農の中心として市内で最も農業が盛んな地域ですが、区画整理事業に伴い都市化が進んでおり農地が減少しています。

イノシシ・小動物による鳥獣被害が多く発生しているため、ワイヤーメッシュや電気柵の設置、また地域全体での箱罾設置や駆除活動による対策が進められています。

農家の高齢化が進む中、担い手組織や後継者が育っておらず、特に稲作においては、地域担い手による高齢者所有農地等の作業受託体制の構築を推進するとともに、農業委員や農事組合等と遊休農地情報の共有や活用協議による担い手への農地利用集積などの取組みを推進します。

### (2) 特色ある取組み

・九州大学留学生とJA青年部の農業交流

（JA青年部等が主催して、九州大学に在籍する留学生を対象とした栽培施設の見学や若手農業後継者との交流会を実施している。）

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	173 (64)	148 (68)	85.5 % (106.3 %)
農業従事者数（人）	485	408	84.1 %
農地面積（ha）	417	400	95.9 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	62	60	96.8 %
主要生産物	米、いちご、しゅんぎく、ほうれんそう、小松菜、トマト、れんこん、バラ、生乳		

## 11 北崎

### (1) 現状及び施策の方向性

福岡市の北西部に位置し、農地の大部分を畑が占めており、温暖な気候を活かして、野菜や花きの生産が活発に行われています。なかでも、大根やすいかなどの露地野菜や花きは市内随一の生産が行われています。



大根畑

イノシシによる鳥獣被害が多く発生しているため、有害鳥獣対策協議会を中心に被害軽減対策が進められています。

花きや主要品目以外の後継者の減少により、放棄されたハウスや耕作放棄地が増加しています。このため、花き青年部等へ新規栽培品目の提案などの営農支援を推進するとともに、地域内の遊休施設状況調査により担い手・新規就農者への農地集積を図り、農地の有効利用を推進します。

### (2) 特色ある取組み

- ・北崎校区を中心に、ホームページやイベントを通じて、すいか等の特産物のPRに取り組んでいる。

### (3) 基礎データ

	平成22年	平成27年	平成27年／平成22年
販売農家戸数（戸） （うち専業農家）	122 (54)	95 (48)	77.9 % (88.9 %)
農業従事者数（人）	384	283	73.7 %
農地面積（ha）	460	435	94.6 %
	平成23年	平成28年	平成28年／平成23年
認定農業者数（経営体）	62	53	85.5 %
主要生産物	だいこん,米,すいか,みかん,キャベツ,かぶ,菊,トルコギキョウ,バラ,ストック,ガーベラ,鶏卵		